

実 戦 消 防 操 法 大 会

令和5年9月24日(日) 流山市おおたかの森スポーツフィールドにて『第30回 流山市消防団実戦消防操法大会』が開催されました。令和2年から新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止となっており、本大会は実に4年ぶりの開催となりました。市内22個の分団がポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に分かれ、それぞれの技術と団結力を競い合いました。



ポンプ車操法の部 (出場5個分団)



優勝! 第21分団



準優勝! 第1分団



小型ポンプ操法の部 (出場17個分団)



優勝! 第20分団



準優勝! 第10分団

各種目第5位までは下記のとおりです!

ポンプ車操法の部

- 第3位 第23分団
- 第4位 第7分団
- 第5位 第14分団

小型ポンプ操法の部

- 第3位 第12分団
- 第4位 第13分団
- 第5位 第16分団

大変お疲れさまでした!

消 防 団 員 大 募 集

消防団は地域のために日々活動しております。しかし、消防団員は全国的にも減少傾向にあります。災害はいつ起こるか分かりません。いざという時に大切な人を守るためにも消防団員になりませんか?

地域のために
あなたの力を貸してください!

【募集要項】

- 年 齢 ☆18歳以上50歳以下
- 待 遇 ☆非常勤特別職の地方公務員として、年額報酬や出勤報酬などの支給があります。また、入団後には制服や活動服も支給されます。
- 内 容 ☆火災時での消火活動、防火啓発活動、応急手当講習会、各種訓練等
- 申込方法 ☆下記までお気軽にお問い合わせください。
- 問合せ先 ☆流山市消防本部 消防総務課 管理係 7158-0299



流山市消防
マスコットキャラクター
おおたかくん



ストレプトカーパス 花言葉“(期待に) 応える”

編集・発行/流山市消防団本部/流山市三輪野山一丁目994番地 ☎7158-0299

流山市消防団ニュース

第54号・令和5年12月発行

消防団活動を市民の皆さんとともに進め、安全で豊かな郷土づくりに寄与することを目的とした消防団発行の防火防災の情報誌です。

消防団はこんな活動をしています!



夏季訓練 (令和5年6月4日実施)

消防団として必要な規律の保持と団結力を養うために実施します。



第30回 流山市消防団実戦消防操法大会

(令和5年9月24日実施)

市内の22個分団が各種目(ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部)に分かれて競い合います。気になる大会結果は4ページをご覧ください。

その他にも、災害活動はもちろん
パトロール・応急手当講習・車両展示等
活動内容は盛りだくさん!!!



新任団幹部 挨拶

新消防団長に 梅澤消防団長が就任いたしました。



団長

うめざわ かず お
梅澤 一雄

2023年4月より流山市消防団長に就任いたしました梅澤一雄と申します。

私が消防団に入団した1990年当時の人口は約14万人でしたが2023年には21万人を超える人口となり様変わりした市内には驚くばかりです。

さて、消防団は地域住民の最も身近な防災機関であり、消防活動をはじめ各種の予防警戒活動などに大きな期待が寄せられています。しかし、消防団の組織は、普段はそれぞれが生業を営んでいる者で構成されている組織であることから、それだけに組織管理は極めて難しいといえます。

消防の任務は消防組織法に定められておりますが、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」では、災害が発生した場合に地域で即時に対応することが出来る消防機関である消防団がその中核的な役割を果たす事に踏まえ、消防団の強化等により地域における防災体制の強化を図ることが基本理念として記されています。ですから、私たちは地域における消防防災のリーダーとしてこれらのことを常に念頭に置き、組織の目的達成に努めなければならないと思います。

そのためには、

組織力の向上: 災害による被害は初期対応の如何により大きく左右されます。これはいかに迅速に消防団の活動組織を立ち上げられるかにかかっています。そのためには連絡体制の確保、装備等の点検整備及び教育訓練等が不可欠であるので、これらを実践する団員を指導育成するなど後継者作りに務めます。

規律の保持: 規律は組織が体制を保持し、その目的を達成するために必要なものでありますので、普段の消防活動においても幹部が率先して自己統制を行うことで団員との信頼関係が増し共に統率された組織作りを行って参ります。

倫理規定: 消防団活動に従事する中で団員に対し、精神的、肉体的苦痛を与える又は組織内環境を悪化させる行為をしてはなりません。また社会環境の変化により、私たちは様々な業種、年齢、性別で構成されていることを十分に認識しそれぞれの価値観、立場、能力などといった違いを認めて互いを受け止め、尊重し合うことが必要であります。

以上のことを改めて幹部団員に認識してもらおうと共に団員全員が同じ技術と知識を持って安全に消防団活動が出来る、地域市民から頼りにされ、また子ども達からも憧れられる、存在感のある地域の防災リーダーとして邁進して参ります。



新 副団長



副団長

こやま まさのり
小山 正典

今年度より副団長を拝命しました小山と申します。各自治会、後援会の皆様におかれましては日頃から消防活動へのご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

流山市の人口も21万人を超え千葉県内7番目の都市となりました。

しかしながら消防団は人口増加に反し団員減少の一途を辿っているのが現状です。今後、関係各位に団員確保の協力をお願いするのは元より我々現役団員が丸丸となって取り組む事が早急の課題と考えております。また、6年間の第一方面隊長の経験を生かし有事の際及び火災出動において少人数でも活動出来るような消防団員を育成し『機動力のある、頼りにされる』消防団を目指して参りたいと思います。

梅澤団長新体制の元、佐久間副団長、水野副団長と協力してさらに尽力して参りますので宜しくお願いします。

第一 方面隊



第一方面隊長

いわつき せいいちろう
岩槻 誠一郎

令和5年4月より第一方面隊長を務めさせていただき事になりました岩槻と申します。

今まで個人としての活動が主でしたがこれからは各分団と連携を取り協力しながら安心、安全な流山にする為に尽力して行きたいと思っております。

また、日頃より地域の皆様にはご支援、ご協力頂き心より感謝申し上げます。

これからも地域の皆様とは色々な事に関わる事と思っておりますが第一方面隊と地域の方々でより良い流山にしていく為に活動していきますので今後ともご協力宜しくお願い致します。

第一 方面隊



第1分団長

かねこ としかず
金子 敏和

今年度より第一方面隊第1分団の分団長を務めさせていただきます金子と申します。

日頃より地域の皆様方には消防団活動にご協力ご支援を賜り心より感謝申し上げます。第1分団は流山及び流山五丁目から九丁目を管轄しております。第1分団地域は江戸川に近いこともあり水門などの管理もして増水時には昼夜問わず閉門したりしています。

近年、水害に限らず様々な自然災害が起きています。災害時には分団員全員で協力して地域を守りたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

第二 方面隊



第7分団長

ささき あつし
佐々木 淳

今年度より第二方面隊第7分団長を拝命しました佐々木 淳と申します。

日頃より加台自治会様、平和台自治会様に多大なご支援とご理解を頂き心より感謝申し上げます。

消防団の役割とは、それぞれの仕事を持つ中で「自分達の街は自分達で守る。」という使命感のもと、自治会様・消防署と協力し地元ならではの行動力で「流山」を守り、盛り上げていく事と考えております。そして「頼りになる地域の消防団」と言われる様な消防団活動を進めていきたいと考えております。これからも第7分団へのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

第四 方面隊



第10分団長

くぼた じゅんいち
窪田 淳一

この度、第四方面隊第10分団の分団長を務めさせていただきます窪田と申します。

日頃から地域の皆様方には、ご協力を賜り感謝申し上げます。第10分団の団員一丸となり、地域の安心、安全を守るために活動させていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

第四 方面隊



第11分団長

あんびる ひろあき
安蒜 弘晃

11分団安蒜と申します。

日頃より消防活動にご理解ご協力戴いている後援会様、自治会様には多大なる感謝申し上げます。

11分団の現状ですが、団員の高齢化が進んでおり、団員も不足しております。

防災に詳しい方、ボランティア活動等で、地域貢献したい方、消防車や放水に興味のある方ご一報頂けたら幸いです。

一緒に地元地域を守っていきましょう！

第四 方面隊



第22分団長

ひろせ ともたか
廣瀬 友崇

今年度より第四方面隊第22分団の分団長を拝命いたしました、廣瀬と申します。

日頃より後援会並びに地域住民の皆様方には消防団活動に多大なるご支援・ご協力、またご理解を頂き、誠に有難う御座います。我々消防団は、火災防ぎ活動は勿論の事、近年数多く発生している異常気象から起きる災害でも活動しております。全ての災害は自助、共助、公助が大切と言われております。

自助(自分自身の身の安全を守る事) 共助(周囲の人々と協力して助け合う事) 公助(消防、警察、自衛隊などの助けを受ける事) その3つの助けをお手伝いするために日々訓練を行い、流山市にお住まいの皆様が安心して生活して行けるように活動して参ります。今後とも、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。